

新善光寺 寺報 北縁

2021年10月 Vol. 47

# ほくえん

## 十夜法要は 僧侶のみでお参りします

11月3日（水・祝）の十夜法要は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から新善光寺僧侶のみでおこないます。誠に申し訳ございませんが、お参りはお控えくださいますようお願い申し上げます。

例年通り、法要では塔婆供養をおこないますので、ご供養を希望される方は同封の郵便振替用紙をご利用ください。



### 十夜法要とは

浄土宗の最も大切な経典の一つ「無量寿經」の中に、

「此に於て善を修すること十日十夜すれば、  
他方の諸仏国土にして善をなすこと千歳するに勝れたり」

（現代語訳：この世界で十日十夜の間、善行を修めることは、その功徳は他の仏の世界で千年にわたって善行を励む功徳よりも優れている。）

とあることに基づく法要です。

### 〈ライブ配信〉

YouTube「新善光寺チャンネル」にて  
法要をライブ配信する予定です。

11月3日(水・祝) 午後2時より

新善光寺 youtube で検索ください。



## お寺での葬儀が増えてています

今年に入って新善光寺を使っての葬儀が増えてきております。シャワールームの改修など設備面を新しくしたところもあり利便性も増していると思います。

ここに写真で一例を紹介しますので、ご覧いただければと思います。ご質問などはお気軽にお問い合わせください。



### ご遺族様の声

温かみが全然、他の斎場と違う  
と思います。自宅でおこなうよ  
うな安心した感覚でした。

特に不便なところは感じませ  
ん  
でした。出棺の際、鐘を鳴らし  
ていただいて感動的でした。

### コロナ禍でのお参りについて

昨年より、引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、お盆やお彼岸などの法要のお参り方法を変更しております。また、皆さん集まっての1周忌や3

回忌などの法事も、なかなかおこなえないという声も聞  
きます。新善光寺の法事で使う部屋は広いので座席の間  
隔も広くとれて、またWi-Fiも通っていますので、そ  
こから繋げることもできます。

お参りについてご心配なこと、ご質問などがあれば何  
なりとお問い合わせください。電話だけでなく、ホーム  
ページ上のお問い合わせフォームからも問い合わせいた  
だけます。



# 浄土宗の総・大本山について

## 第1回目：知恩院②

前回に引き続いて総本山知恩院の紹介を行います。



知恩院三門

知恩院は敷地内に多くの建物を持ち、すべてを細かく紹介はしきれないのですが、その敷地は三門などのある下段、本堂など中心的建物のある中段、勢至堂などのある上段の3段に分かれています。法然上人がこの地で過ごされていたのはこの上段にあたり、中段、下段は主に江戸時代徳川家の援助によって広げられました。

まず、敷地内入り口にあります三門は高さ 24 メートル、横幅 50 メートルあり、木造建築の門としては日本国内最大級で国宝でもあります。一般的にお寺の門は従来お寺が山に建てられていたことの名残で「山門」と言われますが、知恩院の門が「三門」と言われるのは、この門を通って悟りへ至る 3 つの境地へ至れますようにとの想いを込めてそのように呼ばれております。そして、この門の正面には大きさにして畳 2 畳以上のかちょうざんの大きさにもなる、前号で紹介した知恩院の正式名称の中の「華頂山」という「山号」が書かれた額が中央に掲げられています。

また、この三門の内部は常に公開はしていないのですが、入ることができます。毎年 4 月 18 日から 8 日間にわたっておこなわれる「御忌大会」(法然上人忌日供養) の初日に、2 階にて毎年数多くの皆様と夜通し念佛を唱えるミッドナイト念佛というイベントを行っています。一般参加の他、近年インターネットでの参加も可能なのでこの時期を狙って行くのもおすすめです。(開催概要は知恩院のホームページをご覧ください)

その三門を抜けますと階段があります。まっすぐな急な階段を男坂、横から入る上りやすい階段を女坂と呼び、その階段を上った先に大きな本堂(御影堂)が目に入ります。御影というのは法然上人のお姿の事であり、ここには法然上人のお像が中心にまつられております。このお像是毎年 12 月 25 日に御みぬぎしき身拭式といつて 1650 年頃から続くお像を拭い清める法要も行われており、こちらも参拝可能となっております。



知恩院 男坂

そして、この本堂もまた国宝で間口 45 メートル、奥行 35 メートル、高さ 28 メートルの大きさがあり、その天井には 8 万 5000 枚もの瓦がのっています。昨年、9 年に渡る大規模修繕を終え、今でも 365 日念佛の声が響いております。また、ここで毎日勤められる朝、昼の法要も参加可能で京都に滞在された折には、朝のお勤めに参加していただければ、清々しく一日を過ごすことができるかと思います。

この本堂に繋がって僧侶の修行するお堂など多くの重要文化財の建物もあり、すべてでは無いですが庭園等一般の拝観も受け付けていますので、こちらも是非中に入られることをオススメいたします。

また、この中段の少し行った所には 1678 年に作られました鐘楼もあり、高さ 3.3 メートル、重さ 70 トンの巨大な鐘は僧侶 17 人で突きます。除夜の鐘はテレビ等で中継放映されるのでご覧になられたことのある方も多いのではないでしょうか。



阿弥陀堂での法要の様子



知恩院鐘楼

そして一番上段には勢至堂と言われる知恩院内で現存する最古の建物があります(1530 年)。この建物は勢至菩薩をおまつりしており、静寂な空気の流れる空間になっています。勢至菩薩とは阿弥陀如来様の両脇に觀音菩薩と共に控えておられる菩薩さまと、法然上人の幼名を勢至丸と言ったことから面影を重ねて大切にしております。その法然上人の最も多くの時間を過ごされたお堂、その心を感じる事のできる場所となっております。

次回は知恩院七不思議について紹介させていただきたいと思います。

シリーズ 仏事のおはなし

## 仏さまのおはなし ①



前回までは「年中行事のおはなし」と題して、浄土宗、通仏教で行う行事についてお話してきました。今回からは、私たちが日々お参りしている「仏さま」についてお話してみたいと思います。

皆さんのご自宅には仏壇があり、その仏壇にはご本尊を安置されていると思います。日々のお勤めやご給仕はその仏さま（ご先祖さま）に行います。また、ご自身の菩提寺や旅路にて名刹をめぐり、そこのご本尊に祈りを手向ける。そんな

事があると思います。お寺によってご本尊は如来さま、菩薩さま、ある時は明王さまなど様々な仏様がいらっしゃいます。

お参りしている仏さまはどんな仏さまなのか、そういったお話を聞いてみたいと思います。

### ◆仏さまとは

一口に「仏さま」といっても、様々な位くらいがあります。本寺報第42号の「北縁なんでもQ&A」のコーナーで、今回のテーマに即した内容の話がありましたので、抜粋添付してみます。

下記は「主な仏さまの種類（名称）とそのご利益」についてのご質問にお答えしたものです。

#### 【以下、北縁42号より】

**【如来】**：悟りを開いた存在。質素な衣を身に着け、基本装身具は付けない。

釈迦如来 … 人を悟りへと導く

薬師如来 … 病気平癒（とりわけ眼病）・除病延寿・災難除去・現世利益

阿弥陀如来 … 極楽往生 現世安穩

大日如来 … 現世安穩 所願成就

**【菩薩】**：如來を補佐する役割。装身具など付けている。如來のひとつ手前の存在。

聖観音（觀音菩薩）… 苦難除災。極楽往生。開運厄除。

十一面觀音… 除災除疫。あらゆる方向からの願いを聞き入れる。

千手觀音 … 除災除病。敬愛（夫婦円満・恋愛成就）。

馬頭觀音 … 畜類救済。息災。交通安全。

文殊菩薩 … 知恵。学問。  
普賢菩薩 … 増益延命。女性守護。  
勢至菩薩 … 智慧明瞭。家内安全。除災招福。  
地藏菩薩 … 安産子授け。子供守護。水子祈願。交通安全。無病息災。  
弥勒菩薩 … 未来を救済する。衆生救済。

**【明王】** みょうおう : 仏の教えに従わないものを正しく導く。怒りの表情、勇壮なポーズ。

不動明王 … 煩惱・悪行除滅。厄除災難除去。開運吉祥。出世。

**【天】** てん : 古代インドの神々が仏教に取り入れられたもの。

梵 天 … 仏法守護。戦勝国土安穏。立身出世。

帝釈天 … 仏教守護。国家守護。商売繁盛。財宝金錢。

四天王 (多聞天・持国天・增長天・広目天) … 仏法守護。

上記以外にもたくさんのお菩薩等の仏さまがいますが、本シリーズではここに表記されている仏さまについてお話ししていこうと思います。

## 釈迦如来 ①

さて、まずは釈迦如来、つまり仏教を開かれた「お釈迦さま」のお話をしたいと思います。

お釈迦さまは、「釈迦如来」という呼称の他、「釈迦牟尼如来」「釈迦牟尼世尊」(略して「釈尊」または「世尊」とも)などあります。また「現在仏」という言葉があり、これは仏教の世界觀に「三世(現在・過去・未来)」というものがあり、その現在の仏がお釈迦さまであると説きます。お釈迦様は実在した方ですが、今から2500年以上も前の方です。一般的には過去の仏さまと思えるかもしれません、これは「お釈迦さまが悟りを得る前に存在した仏を過去仏」と定義しているためです(お釈迦さまはすでに滅<sup>にゆめつ</sup>(お亡くなり)されていることから、過去仏とすることもあります)。

お釈迦さまは人間として初めて悟りを開いた人物で、悟りを開いたことによって仏になります。しかし、お釈迦さまが開いた悟りの道理は、太古から存在していて、この道理を悟った先人たちである過去仏によってお釈迦様も悟りを開くことができたという解釈があります。

因みに「未来仏」は後述する  
みろくぼさつ  
「弥勒菩薩」を指します。

次回はお釈迦さまのお話の続きです。



ズッコケ尼さんの仏教こぼれ話㉙

## 〈仏さまの光を信じて……〉

こまきね きんじょう  
駒木根 琴生



記録的な猛暑の厳しさを何度も実感した夏も終わった。お盆期間中は新善光寺の寺務所にいたが、うちわをあおぎ続けていたせいでまだ腕が痛い。五十年前に建てた我が家は当時のままで、クーラーはなくて扇風機が一台あるだけだが、特に不満なく過ごしている。それは比熱大のコンクリート造りの上に、家中を巡る風のお陰である。建築の専門家の主人の工夫でどこの場でも涼しい。その風は風鈴に音色を奏で、心地いい。また、この時期だけ出番のイ草のゴザも一役を買う。湿気吸収の効果を發揮し健康に良い。

この夏の過酷さは人間ばかりではなく、動物たちにも影響した。我が家では七月、裏庭に鹿が現れた。八月には一丁離れた公道に熊が現れた。札幌市内に百数十件、特に住宅街に出没数の増加は人々を不安にした。又、我が家のお風呂の換気窓に鳥の巣もできていた。隣人より知らされたが、親鳥が代わる代わる餌を運んでいるという。壁を見上げると鳴き声から確認できた。浴室のすぐなので、入浴中に見ようと思ったが転ぶこと数回、正にズッコケまっぐらである。そんなこんなで見守り役に徹した。楽しみが加わりだした二週間余の夕方、鳴き声が止まった。旅立ちの合図で、次の朝、庭の栗の樹に四匹の野鳥を見た。南方に旅立つ前に営巣の謝意を伝えると鳴き続けて出発した。新家族の栄華に心から拍手した。

愛する人々が西方極楽浄土より帰ってくるお盆は終わった。コロナ禍のもと、通常とは異なる形で法要を勤めたが、お檀家さん揃ってのご供養のお姿は尊い。本堂全体が阿弥陀様の本願他力に包まれた。

このコロナ禍の中、柳田国男さんの『先祖の話』を読み返した。柳田さんは日本人の生死観や先祖への信仰心の危機感より民俗学を立ち上げた。農民生活向上と民間伝承を基に普通の人々の歩みを書き続けた。『遠野物語』を始め百冊余りの作品を残した。それ等は明治から昭和にかけての混乱期の日本、特に東北の人々への功績は大きい。人間の靈魂は死後も故郷に留まるという死生観は残された者の心の拠り所となっている。私のように息子に先立たれた母は息子と一緒に独特的な考え方を嬉しい。又、柳田さんの理想・太陽が全ての人々を漏れなく照らすという世界は、正に法然上人の御教え“月かけのいたらぬ里はなけれども、ながむる人の心にぞすむ”である。

最近のニュースで知ったが、中・高校生が自身の家族の介護や世話を追われて、本分の学業に専念できない状況にあり、その内のかなりの数に相談相手がないという。知った以上気がかりでならない。どうしてあげたら良いのだろうか…。声を上げてほしい。すぐ横に彼らが居たら「みんな幸せになれるよ。仏様も私も助けるよ」と本気で伝えてあげたい。

ワクチン接種で遠かった出口が近づいて見えた。我慢していた人達に会いたい。薄らぎかけた人情を取り戻し、一歩前に進みたい。

“風が吹く 佛來給う けはいあり”

(高浜虚子)



## 聖徳太子と善光寺如来さま

今年は、聖徳太子 1400 年遠忌の年にあたり、太子ゆかりのお寺では法要が勤められ、また国立博物館では太子の遠忌を記念して展覧会が催されました。昭和 55 年生まれの私にとっては、一万円札の聖徳太子の姿が懐かしく思い起こされます。聖徳太子を肖像としていた一万円札は、昭和 61 年まで発行されていたようです。

それでは、今回、遠忌を縁として、聖徳太子と善光寺如来さまとの関わりを通して、仏法のたのもしさを味わいたいと思います。善光寺如来さまは、インドから中国そして我が国に伝わって来てくださった三国伝來の生身の如来さまです。つまり、生きておられる如来（仏）さまなのです。その如来さまのお住まいは、信州長野の善光寺です。聖徳太子は、その如来さまに、お念佛の功德について尋ねるお手紙を書きました。その御返事が今も奈良の法隆寺にある「善光寺如来御書箱」の中に大切に保管されています。その御返事は、厳封されているので直接拝見することはできませんが、『和語灯録』（1274 年～1275 年成立）という法然上人の遺文を集めたお書物に、聖徳太子のお手紙の一文と如来さまからの御返事の一文が記されています。それによります



信州善光寺本堂

と、如来さまの御返事には、「我、衆生待つこと心間なし、汝よく済度す、豈護らざらんや」とあります。つまり、善光寺如来さまは、私たちすべての生きとし生けるものが真実の道を歩もうとすることを待っていてくださいり、その如来さまのやさしい御心が私たちにふりそそがない日は決してありません。あなた（聖徳太子）を必ずお浄土に救い渡します。お浄土に往くまでの道中には、さまざま悲しみや困難がありますが、常に見護り、行く末を照らし続けます。なんと温かく心強いお示しでしょうか。聖徳太子のみならず、現代に生きる私も如来さまの御心に触れ、深い感動をおぼえます。

ところで、疫病の難がなければ、今年令和 3 年は善光寺前立本尊御開帳の年でした。しかし、御開帳は来年令和 4 年に延期されました。疫病の難は、私たちの日常を一変させ、先行きの見えない状況に右往左往しています。そんな中、次の歌が胸に響きます。「この秋は 雨か嵐か 知らねども 今日のつとめに 田草取るなり」（二宮尊徳）。予測のつかない世の中ではありますが、一日一日を大切に、我がつとめとして、お念佛の日暮らしを送りたく存じます。善光寺如来さまにお会いできる日を想いつつ…。



聖徳太子像  
(慈啓会特別養護老人ホーム所蔵)

〈文：立花 俊輔〉

—お檀家タウンページ～ともいき訪問㉒—

## 株式会社札幌グルメフーズ

夕張メロンキャラメルの開発秘話とは

今回は北海道土産の大定番“夕張メロンキャラメル”などを開発・企画・販売されている(株)札幌グルメフーズ様に伺い、会長の長屋俊明様、社長の長屋功一様にお話を聞きました。

長屋家様は元々は、北見市にある明照寺様のお檀家様で、10数年前から新善光寺からお参りに行くようになり、お墓も数年前に北見より札幌に移されました。また、功一社長はしろいし幼稚園出身で、さらにそのお子様方も現在しろいし幼稚園に通われていて、活発にお育ちになられているとのことです。

北見市で昭和25年に飴製造会社として創業され、当初は北見特産のハッカを原料としたハッカ飴を販売されていましたが、どうしてもハッカは好き嫌いが分かれて、札幌まで御しに来てもなかなか良い返事が聞こえなかったそうです。

### 夕張メロンキャラメルの販売に至るまで

そこで目を付けたのが夕張メロンです。「これから夕張メロンがメロンのブランドとして伸びていくという話があり、これでキャラメルやチョコを作ったらどうかとなりました。」と会長は語ります。ですが販売に至るまでには3年という期間がかかりました。「夕張メロンは高級メロンです。それが300円くらいの商品になる。どういう趣旨でどういう味になるのか、ちゃんと味はでるのかと農協の方に言われました。ですがこれは実際に食べていただくしかないのです。」なかなか許可が出ず、話が出てから2年半目の冬に夕張に行って、これでダメなら諦めるかと思われたそうです。

「その時はちょうど猛吹雪で、前を走っているトラックのテールランプが見えなくて、あと30センチで追突しそうでした。これはやめた方がいいということだと解釈しました。また、農協に行く前に○○部長いますか、と電話したのですが、昔の黒電話ですから“いないと言っておけ”と大きな声が聞こえました。それならいるなと確信して訪問し、そう思って来たのですよと伝えたら、“あんた頭良いなあ、それなら理事会にかけてやる。味をみて良かったら連絡するから」となりました。

その4日後に部長から連絡が来て「“私だけ反対したけど、あの皆さんは良いって言うから。許可出しますよ。”と言われました。いやあ、その日のビールは格別に美味しかったですよ。」と当時の事を思い出され笑顔でお話されま



長屋俊明会長



夕張メロンキャラメル

した。まさに勝利の美酒に酔うとはこのことかと思われます。

そして、ここから快進撃が始まります。「売れる商品は広がりが早いのです。ダイエーさん、イトーヨーカドーさんから、すぐ全国の店舗に入れたいと連絡が来ました。また、他のスーパーからも、うちもうちもとなっていきました。まさに商品力です。勝手に一人歩きしているかのようです。」と爆発的に売れていきます。実際に食べてみるとメロンの香りが口いっぱいに広がり、優雅な気分になります。その他にも夕張メロンを使ったチョコも美味です。

## 異色のヒット商品 “ジンギスカンキャラメル”

その他にも色々な商品を出されていて、“美味しいなくて有名”（会長談）というジンギスカンキャラメルもあります。

これを企画されたのは功一社長です。入社当時、何か新商品をという話になり、ラーメン・蟹・ジンギスカンのどれかと考えていたそうです。そして材料やアレルギーの面からジンギスカンならということになりました。「ですが、作るのには段

ボール代、デザイン代、箱代など一つ作るのにも何百万円もかかります。売れなかったら、それをお前責任もてるのかと会長に言われました。」と功一社長は語ります。



長屋功一社長

実際に作ってみてもなかなかどこも置いてくれなかったそうで、やっと一軒だけ新千歳空港の知り合いのお土産屋さんで取り扱ってくれました。たまたま人気番組“笑っていいとも”的スタッフが購入し番組で紹介したそうです。テレビで「不味いね、これ！」と言われて、そこからヒットしたそうです。まさに逆転の発想とはこのことです。味はどうかというと、皆さん実際に食べてみて感じてください。

また、ある町の特産品を使った新商品を計画されていたそうですが、このコロナ禍の中でストップしているそうです。観光業の深刻さは顕著で、お土産業界も同様です。その中でも現在、インターネット通販の方は好調ということです。

どうぞ、あらためて北海道の味というのを感じてみませんか。そこには豊かな気持ちが待っていることでしょう。



沢山の商品があります

## 株式会社 札幌グルメフーズ

〒 003-0028 札幌市白石区平和通2丁目南6番21号  
TEL 011-865-0141 FAX 011-862-4073

札幌グルメフーズ

検索

## 《清璋寺だより》

### 秋彼岸法要を勤めました

8月の暑さも懐かしく思える彼岸の頃、清璋寺本堂にて秋彼岸法要を厳修いたしました。

今回の秋彼岸法要は、新型コロナウイルスにおける緊急事態宣言中の為、寺内関係者及び総代役員のみ参加形式で行わせて頂きました。

未だに収束の兆しが見えては消えの繰り返しの中、二年ほど前のお寺の行事には溢れんばかりの参詣者が集っていた本堂の様子を思い出すと寂しさを感じてしまいます。

お寺は、ご先祖とご家族が繋がる場所、又お檀家の方々が繋がる場所として所謂「集う場所」です。新型コロナウイルスによって、社会の中で様々な「集う場所」が奪われている中、一日も早くお寺本来の姿に戻せるよう日々精進努力してまいります。

今後も清璋寺の行事につきましてはご案内いたします。新善光寺檀信徒の方で行事参加希望（ご自宅から近い等の理由）の際は、お寺までご連絡ください。



西縁山 清璋寺 札幌市手稲区西宮の沢5条1丁目19-35

**TEL 011-668-5110**

慈啓会から

## 社会福祉法人 札幌慈啓会 後援会について

札幌慈啓会は新善光寺2代目住職の林玄松が創設した札幌養老院をスタートとします。ご高齢の方の健やかな老後を願い仏教精神のもと、大正14年（1925年）に藻岩山の麓に建てられました。以後、お檀家様を筆頭に地域の方々との協力・深い理解により、時代のニーズに応じた優れた保健・医療・福祉施設として幅広い活動をおこなっております。

“後援会のご案内”を同封しておりますので、お読みいただきご賛同いただければ幸いです。



一昨年の定期総会の様子

### 福祉・病院学会「公開講座」ウェブ配信のご案内

「免疫について知っておきたいこと～コロナとリウマチをテーマに～」

視聴  
無料

配信期間 2021年10月1日(金)～10月31日(日)

視聴方法 右記QRコードか、札幌慈啓会ホームページ  
からアクセスし、ご視聴ください。



### 札幌慈啓会総合相談室のご案内

○○® 0120-83-8291

お電話受付時間／8:45～17:00(土日・祝は除く) E-mail info-jk@sapporojikeikai.or.jp

専門スタッフが保健・医療・福祉などのご相談に応じます。

病気や加齢は様々な生活上の障害を産み、時には介護や看護を必要とする場合があります。ご心配やお困りのときはお気軽にご相談ください。ご相談の内容は秘密厳守いたします。

相談  
無料

当山のお仏像を紹介します④

じ こく てん  
**持国天**



本堂の阿弥陀さまがおられる須弥壇の四隅に  
してんのう  
四天王をおまつりしています。今回は、その四天  
王のうちの一尊である持国天を紹介します。  
『四十八巻伝』卷十七には、法然上人が病にかかつた時、聖観法印が「四天大王、仏法を護り給わば、かならずわが大師上人の病悩をいやし給え」と祈念したと記されています。四天王は、仏法を守護し、ひいては仏法を実践する者をもお守りくださるのです。持国天は、東方を守護し、手には獨鉢という法具を持っています。



〈寄贈いただきました！〉

明照婦人会様からスリッパラックの寄贈がありました。納骨堂前に設置しまして、お参りの方からも大変好評を得ております。コロナ禍で婦人会の活動もままならない中、お気をかけていただいて誠にありがとうございました。



## 北縁 なんでも Q & A

いつもご質問、感想等、ご投稿いただきありがとうございます。

今年も気づけば残りの月日が数えられる程になってきました。昨年同様コロナ禍での生活が続いており、情勢も中々安定しませんが、そんな時こそお念佛の中に落ち着いて日々の暮らしを送りたいものです。秋の夜長、色々な書物に目を通す方も多いと思いますが、その読み物の中に本寺報を加えていただければと思っています。

**Q 少し前から「御朱印」がブームになっていると聞きます。  
御朱印をもらうのに何かルールがあれば教えて下さい。**

**A** 御朱印は、本来「のうきょう納経（写経した經典をお寺に納めること）」を行ったことの証でした。現在でもそのように扱うお寺もあるそうですが、一般的には参詣された証に各社寺で帳面に記す墨書や押印する朱色の印章を指します。

10年ほど前から、いわゆる「御朱印ブーム」「御朱印ガール」などの俗語と共に、テレビの情報番組、バラエティ番組などで紹介されるようになりました。当寺でも希望者の来寺が多くなりました。

前述の通り、スタンプ収集とは違い、あくまでも参詣の証としてのものなので、御朱印をいただくときはその社寺に見合った作法での参拝を行っていただく事がエチケットとなります。また、いくら証だけだとは言え、ノートの切れはしなどに記印してもらうのは失礼にあたりますから（お寺によっては、梵字ぼんじといつて、字そのものが仏さまを表すという字を書する場合もあるので）、御朱印をいただくときは専用の「御朱印帳」を準備しましょう。御朱印帳は文具店や大型の雑貨店、社寺などで販売しています。また社寺によつては「書置き」といい、事前に和紙などに記印したものを準備しているところもあります。直書きと同じ意味合いのものですから、御朱印帳に貼り付けるなどしましょう（書置きの御朱印だけ、別途ファイルに保管する方もいます）。

御朱印をいただくには、「冥加料」「初穂料」などの謝礼が必要です。金額は300～500円程度なので、できれば釣り銭のいらないよう準備してください。

**Q コロナ禍によって、疫病退散などのご利益があるという「アマビエ」という妖怪が取り沙汰されていました。お寺で厄払いなどの御祈祷はしていますか？**

**A** ご質問には「御祈祷」とありますが、似たような言葉に「御祈願」があります。「御祈祷」と「御祈願」は厳密に言うと「祈祷：良い結果が生まれるよう言葉にして祈る」「祈願：ある目的達成のため神仏に祈る」というような違いがあるとされています。この定義から言うと、「厄払い」は「祈りによって厄（悪い事）を取り除き、日々の生活が無事に過ごせるように」という意味合いがあると思うので、「御祈祷」となるかと思います。残念ながら当寺では、日常法務として厄払いという形での儀式の受付はしていません。お檀家様で、どうしても菩提寺で厄払いをお願いしたいという方がいましたら、ご相談ください。

ちなみに御祈願を執行している社寺には、願い事のラインナップとして、「交通安全（車祈願）、家内安全、合格祈願、学業成就、無病息災、旅行安全」などがあり、儀礼を行うとお札などの「授与品」を頂戴できます。

御祈願については、「新善光寺宮の沢別院 清璋寺」にて年中受付していますので、ご希望の方はお問合せください。

## 〈大晦日 除夜の鐘 今年もライブ配信します！〉

例年、大晦日に集まった皆さんと一緒に鐘を撞いていましたが、昨年はコロナの影響で僧侶のみで撞いて、その様子を YouTube にてライブ配信しました。

今年も皆さんに撞いてもらうかどうかは、現時点では未定ですが、ライブ配信は引き続きおこないます。

除夜の鐘

12月31日（金）

午後11時45分頃から～

「新善光寺 youtube」で  
検索ください。



東京別院 靈源寺から

## 東京近郊でのお参り うけたまわります

東京都品川区にある靈源寺は新善光寺の東京別院になります。春と秋には彼岸法要、8月にはお盆参りもおこなっております。

また、都心ということもあり、納骨堂も大変人気があり、葬儀・法事の際はお寺もお使いいただけます。ご希望の方にはパンフレットをお送りいたしますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。

**大光山 靈源寺**

受付時間 9:00～19:00

毎日見学受付中

東急目黒線・不動前駅 徒歩7分 (桐ヶ谷斎場真向かい)  
〒142-0063 東京都品川区荏原 1-1-2 FAX:03-3494-6319  
**TEL:03-3494-1083** 大光山靈源寺



編集後記

今号もお読みいただきありがとうございます。今回の取材でお世話になった札幌グルメフーズ様の長屋社長は、私の4歳上で地元もほぼ一緒でした。ですので、あそこにはアレがあってなど懐かしい話が沢山できました。今までの取材の中でもゆったりとした気持ちで取り組むことができました。

さて、次号は1月発行の予定です。新企画も考えておりますので、どうぞ期待ください。また、アンケートはがきにご感想お待ちしております。

※新善光寺の日々の情報は各種SNSにて公開しております。どうぞ、  
そちらもご覧ください。そしてこの「ほくえん」のご感想もお待ちし  
ております。



ホームページ

*Hokuen* 新善光寺寺報  
47  
北 缘

発行／2021年10月発行

発行責任者／新善光寺住職 太田眞琴

〒064-0806 札幌市中央区南6条西1丁目 [TEL] 011-511-0262 [FAX] 011-511-4706

[ホームページ] <http://s-zenkoj.com> [Eメール] [s-zenkoj@crux.ocn.ne.jp](mailto:s-zenkoj@crux.ocn.ne.jp)